

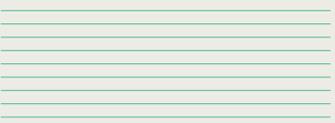
重点戦略

5

持続可能な選ばれるまち “スマートシティやつしろ”の推進

市民に信頼され、利用しやすい市役所づくりと自治体のデジタル化など、新たな取組へ積極的に挑戦するとともに、これまで取り組んできた地方創生の流れを止めることなく、地域資源の更なる磨き上げと魅力を発信し、将来にわたり持続可能で魅力ある、選ばれるまち“スマートシティやつしろ”を目指します。

Priority strategy



1

「市政懇談会」など様々な手法を活用した 「市政の見える化」の更なる推進

重点取組 の方向

「市政懇談会」の開催など、対話を第一とした市政運営に取り組むとともに、市ホームページや広報紙、SNSなどあらゆる媒体を活用した広報広聴活動を積極的に行い、「市政の見える化」の更なる推進を図ります。

成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市政に意見を伝える環境が整っていると感じる市民の割合	20.3%	31.5%
広聴活動（市政懇談会・まちづくり出前講座・市民と市長とのテーマトーク・市長への手紙）による参加者総数（市長への手紙は受付件数）	3,212人 (R1 ※)	3,600人
市ホームページアクセス数と市公式SNS（Facebook・twitter・LINE・YouTube）の登録者数の総数	592,048人 (R1 ※)	659,000人

※現状値の内訳に令和元年度の数値を一部含む



2

デジタル化の推進による 「デジタル市役所」の構築

重点取組
の方向

多様化する生活スタイルに対応し、柔軟な行政サービスの提供を図るため、デジタル技術を活用し、24時間いつでも、どこでも利用できる「デジタル市役所」を構築します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
オンラインでできる行政手続きの数	17 手続き	100 手続き
オンライン予約等ができる公共施設の数	11 施設	79 施設



3

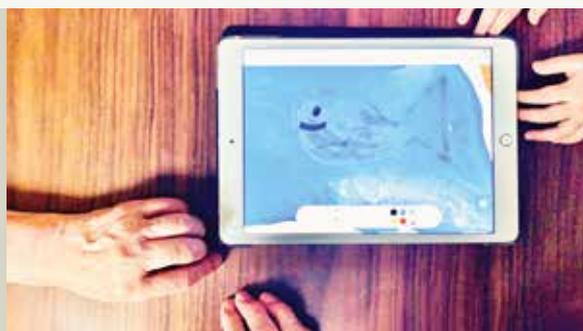
“誰一人取り残さない” デジタル化の推進

重点取組 の方向

デジタル機器の操作に関するサポート体制の充実を図るとともに、誰もがメリットを感じられる“誰一人取り残さない”デジタル化の推進と、地域課題の解決を図ります。

■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
インターネットがストレスなく利用できる環境にあると感じる市民の割合	44.7%	60.0%
スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器を操作して、各種オンラインサービス等を利用できる市民の割合	-	66.0%
公共施設（防災・社会教育・観光施設）のWi-Fi化率	25.0%	72.5%



4

「移住・定住促進補助金」の創設

重点取組
の方向

新しい働き方や生活スタイルの普及に伴う地方への移住を促進し、自然豊かな本市での暮らしを希望する人たちを応援するため、ワンストップ窓口の整備を行うとともに、「移住・定住促進補助金」を創設します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
人口社会増減率	△ 0.35%	△ 0.20%
転入者数	3,771 人	4,150 人
補助金交付件数実績 (累計)	0 件	20 件



5

ワーケーション環境の整備による 関係人口の創出

重点取組 の方向

情報通信関連企業の集積が進む中心市街地やロケーションが魅力的な場所等にワーケーション環境を整備することで、リモートワークなどによる長期滞在を推進し、ビジネスを軸とした関係人口の創出・拡大につなげます。

■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
企業振興促進条例及び情報通信関連企業立地促進補助金の申請企業数 (累計)	5 件	30 件



6

持続可能な支所地域の振興

重点取組 の方向

支所のスペースを有効活用した地域振興拠点の整備など、拠点機能の充実を図ります。また、市民協働で中長期的な地域振興に関するビジョンや計画の策定・見直し等を行い、地域特性や固有の資源をいかした地域の活性化に取り組みます。

■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
居住する地域での地域振興が活発に行われていると感じる市民の割合	-	30.0%



7

やっしろ国際協会を中心とした 多文化共生の促進と国際交流の活性化

重点取組 の方向

やっしろ国際協会を中心に、官民一体となって地域の国際化や多文化共生※社会の実現に向けた取組を推進するとともに、友好都市をはじめとする海外との積極的な交流を展開します。

成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市内で生活している外国人との関わりが増えてきたと感じる市民の割合	32.4%	37.0%
海外とのつながりや関わりが増えてきたと感じる市民の割合	-	37.0%
海外の文化や習慣に触れるイベント等の実施回数	16回 (R1)	20回

※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)



8

「2050年カーボンニュートラル」 に向けた取組の推進

重点取組 の方向

「2050年カーボンニュートラル※」の実現に向けた計画を策定し、太陽光やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの普及・利用促進など、脱炭素化の取組を推進します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
環境にやさしいまちづくりが進んでいると感じる市民の割合	-	40.0%
住宅用太陽光発電システム普及率	12.9%	16.4%

※カーボンニュートラル…二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。(出典：環境省 HP)



9

将来にわたり安定した 行財政運営を確立

重点取組 の方向

効率的な行政運営と弾力性のある財政構造を確立するため、第三次八代市行財政改革大綱に基づく行財政改革等を実行し、持続可能な行財政運営を行っていきます。

成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
経常収支比率	95.0%	94.0%
B P R※の実施により業務プロセス見直しを行った業務数 (累計)	-	20 業務

※ B P R…Business Process Reengineering (ビジネス・プロセス・リエンジニアリング) の略で、現在の業務プロセスを詳細に調査・分解し、住民サービスの質の向上や人的リソースの活用等の面からどのような問題点があるかを徹底的に分析して、業務プロセスそのものの再構築を図ること。(自治体 DX 全体手順書より)

